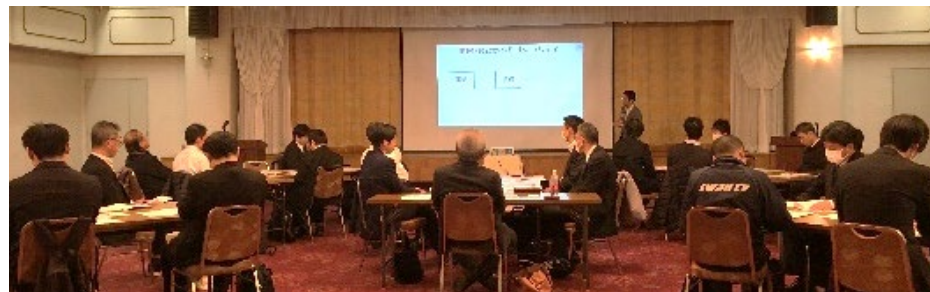


「サイバーインシデント演習in高知」を開催 《サイバー攻撃からビジネスを守るぜよ！自分ごとで考えるセキュリティ対策》

- 総務省四国総合通信局は、令和6年1月30日（火）に「サイバーインシデント演習in高知」を開催し、**企業、自治体、銀行、放送事業者、大学及び国の機関から、経営層やセキュリティ責任者及び情報システム運用担当者など24名**の参加がありました。
- **疑似的なセキュリティインシデント発生時の対応手順を体験**することにより、組織内の基本方針やルールを考えるなど、サイバー攻撃による被害拡大を最小限にとどめる効果的な対応方法等について理解を深めていただきました。

開催概要

- ・日時 令和6年1月30日(火) 14時～17時
- ・場所 高知商工会館 光の間（高知県高知市本町1-6-24）
- ・対象 中小企業や団体等の経営層、セキュリティ責任者及び情報システム運用担当者の方等



<講演の様子>

プログラム

◆第1部 講演（1時間）

「サイバー攻撃の情勢及び対応策について
～サイバー攻撃から事業を守るために考えるべきこと～」

講師：株式会社川口設計 代表取締役 川口 洋氏

インシデント事例を紹介しながら、サイバー攻撃による被害拡大を最小限にとどめ、組織の事業を継続するために必要な対策等について解説。

◆第2部 インシデント演習（2時間）

「セキュリティ事件・事故発生時の効果的な対応について ～フィッシングサイトの脅威～」

講演の内容を踏まえ、参加者によるグループワークを実施。机上演習として疑似的なインシデント発生対応の検討、評価までのサイクルを、参加者が互いにディスカッション・意思決定しながら体験。



<川口講師>



<インシデント演習の様子>

*参加者の声（アンケートより）

- 「組織全体で対策していくこと、経営層へのアプローチが大事だと感じた」
- 「インシデント対策には多視点、他視点が必要という話が印象的だった」
- 「演習を通じて異業種の方とのコミュニケーション、ディスカッションができてよかった」
- 「他社もセキュリティに関する悩みがあり、検討することがたくさんあることがわかった」
- 「自社と異なる規模の会社を想定した演習は驚きがあった」
- 「本演習の内容を、職員へのセキュリティ対策への動機付け、意識改革に生かしたい」

◆総務省四国総合通信局は、経済産業省四国経済産業局とともに、地域の関係者と連携して「**四国サイバーセキュリティネットワーク（四国SEC）**」を立ち上げ、地域のセキュリティ対策向上等に取り組んでいます。本演習もその一環として実施したものです。
<https://www.soumu.go.jp/soutsu/shikoku/chiiki/shikoku-cybersecuritynet.html>



（お問い合わせ先）四国総合通信局 サイバーセキュリティ室（089-936-5044）